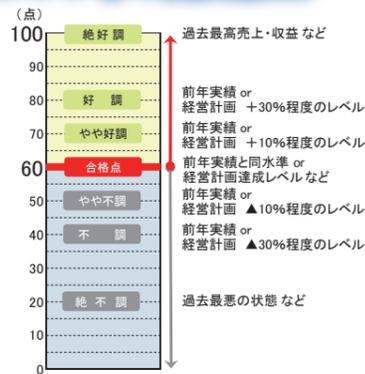


景況感調査「沖縄点気」～2011年9月調査～

9月の沖縄点気は、合格点よりやや低い55点。観光やサービス分野では、土産品購入や自動車販売の回復などやや好調傾向にあるが、製造分野での原料価格の高騰や、震災復旧の本格化にともない、人材・資材確保等が困難になる懸念が残る。

55点
59点 (7月時点)



【業界別動向】

観光分野

今年は繁忙期に台風が来襲したため、予約取消が相次いだ。客足は回復傾向にあるようだ。ネットの普及により、直前にしか予約が入らないため、予約状況が見通せないという問題が見られ始めている。これから秋にかけて、修学旅行などの団体旅行シーズンとなり、この時期は、一般客の航空券入手が困難になる便がみられるようだが近年の旅客機小型化がこれをさらに助長することも懸念される。中国人観光客を対象とした数次ビザ発給、那覇宮古線の大幅値下げ等、内外客共に市場活性化が期待される。

製造分野

鋳工業出荷は上向きとなっている。泡盛酒造業は、観光土産店向け、卸業者向けの販売が低迷しているため、泡盛業者間の小売市場への商品投入が相次ぎ、価格競争も激しくなっている。また、農作物の台風被害から、原材料供給面でも滞りがみられる。震災の影響から、生産拠点の復旧の遅れや風評被害に伴う原材料の供給不足、価格の高騰などもみうけられる。エネルギーコストの上昇が続いているほか、原材料費の高騰もみられるが、商品価格への転嫁は難しく、先行き不透明感がなかなか払拭できない状態が続いている。

建設・不動産分野

住宅建設では、本土大手の木造住宅販売業者の進出により、木造住宅の建設が好調となっているが、県内企業の取込みはやや遅れているようだ。マンション業界では、中国人の富裕層によるキャッシュ購入もみられるが、円高の影響で最近はやや控え傾向に転じている。住宅購入層の低所得化により、購入対象が一戸建てからマンションへシフトする動きもみられるようだ。鉄鋼や生コンなどの建設資材は、ハイテク素材を用いた耐震工事や、マンション・学校の建替えなど、比較的安定した需要に支えられていると考えられる。

サービス分野

小売分野では、お盆準備関係の売上が好調だったが、本土のお盆と沖縄の旧盆が重なったことも理由として挙げられる。IT分野では、業務委託単価が減少傾向にある中、スマートフォン向けアプリ開発の需要は好調のようだ。自動車販売に関しては、今夏以降、新車・中古車ともに安定的な仕入れが可能となっており、今後は売上を維持することができそうだ。秋以降は、修学旅行予約などが好調なことから外食店にも団体客の予約が数多く入っており、小売分野に関しても、冬場の節電・防寒グッズの売上増などが期待できる。

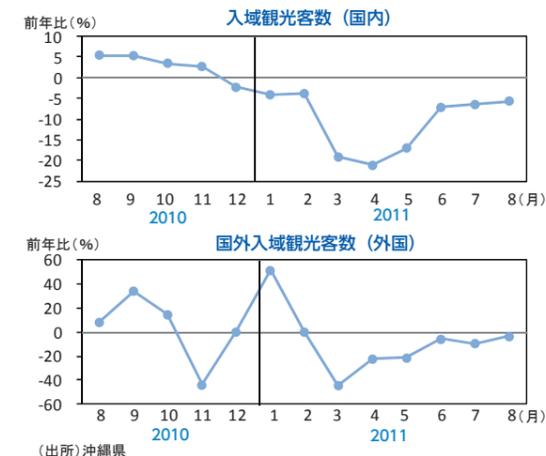
「沖縄点気」…数字による客観的評価と、経営者の心持ちや社会情勢等を合わせて、沖縄の景況感を100点満点で評価したもの。経済データ分析に基づいた経済指標評価、県内企業30社へのヒアリング調査、社会情勢評価など、独自の手法により、それぞれ100点満点で評価し、加重平均することにより沖縄点気を算出。



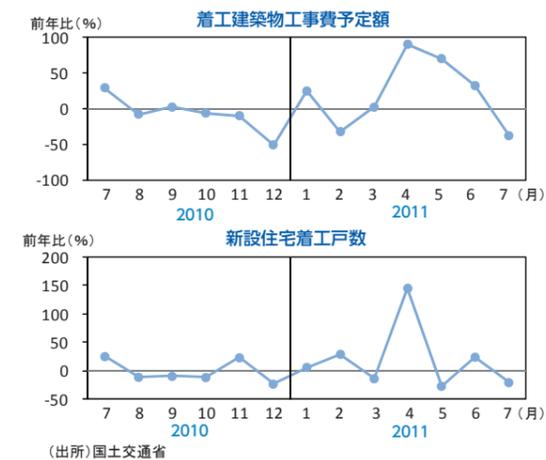
【経済指標評価】観光に持ち直しの動きがみられる

46点
52点 (3ヶ月前)

45点
41点 (3ヶ月前) **観光**



49点
58点 (3ヶ月前) **建設**



49点
56点 (3ヶ月前) **サービス**



32点
58点 (3ヶ月前) **製造**



〔ヒアリング評価〕原材料等の高騰はあるものの、消費は拡大傾向

震災による影響は弱まってきたが、台風接近による観光客減などの影響により平均点数は56点と前回調査時59点（参考値）より若干下回った。先行きについては原材料高騰など、収益圧迫の要因はあるものの、消費マインドの回復による消費拡大や観光客の順調な予約数増もあり、年末にかけ収益が上向くと予測するケースが比較的多くみられる。

- ※1 2011年7月調査時の点数は、評価基準が異なるため、参考値とされたい
- ※2 2011年7月調査時の点数が“-”の事業所は、今回新規調査先



観光	「ホテル」 70点→65点→55点	客単価は前年並みだが、台風の影響がなければ、昨年以上だった可能性もある。最近の傾向としてはインターネットの普及により、間際にならないと予約が入らない状況になってきている。ちなみに、webからの売上はこの10年弱で数%だったのが10%まで上昇している。
	「ホテル」 80点→50点→50点	震災の影響で客足が鈍ると予想し、販売価格を通常より低くし客を集める戦略を採用したところ、客数は前年並みを確保できた。しかし、台風の影響で4000人のキャンセルがでた。飛行機小型化の影響で修学旅行が好調な分、飛行機チケットが取りにくくなっているようだ。
	「シティーホテル」 40点→50点→60点	この夏は台風によって客数が減っただけでなく、原材料価格の高騰や、台風被害の修繕費用、地デジ化に伴うコストアップなどの費用がかさんだ。ただ、修学旅行の予約は前年より伸びている。当初予定していた東日本方面から、沖縄へ行き先を変更する学校もあるようだ。
	「旅行」 40点→60点→70点	対前年比120%増。ネット部門が好調で、ホテル予約だけでなくダイビングなどの分野も伸びている。今夏は企業の休日分散化の影響からか、8月はお盆時期だけでなく全般的にお客が入ってきている。航空運賃の下落により宮古島観光が好調。
建設・不動産	「交通」 40点→40点→70点	台風によるバスの予約キャンセルにより売上が低下した。高校総体が開催された去年と比べると3割減。震災の影響で、東北を予定していた修学旅行の行き先が沖縄に振り返られており、10月以降の修学旅行件数が大幅に伸びる見通し。バス台数の不足が懸念される。
	「ウェディング」 50点→60点→60点	台風でのツアーキャンセルにより売上が低下し、前年比15%減。業界全体では円高の影響でハワイ等海外での挙式の価格が下がっており、沖縄商品との競争が考えられる。震災による暗いムードからか独身者が安心感を求め結婚相手を探すという動きが広がっている。
	「建設資材」 70点→50点→60点	前年実績をやや下回っている。炭素繊維シートなどのハイテク素材を扱えることで、耐震補強工事などを受注。年末にかけ受注は順調。業界では1年後の大手鉄鋼会社同士の合併を控え、合併比率の攻防から地方進出の動きが広がっており、県内への影響も懸念される。
	「建設資材」 一点→60点→60点	昨年より、単価及び供給量とも増加している。要因としては、好調なマンション建設や学校の新築・建替え工事などがあげられる。復興需要が本格化した場合、生コンを流し込むための型枠が不足し、建物建設に支障をきたす可能性がある。
	「建設」 一点→60点→60点	木造住宅の需要が伸びており、それに伴う資材需要が好調。ただし、県外事業者の攻勢が強く県内企業は太刀打ちできていない。7月に、初めてとなる自社ブランドのマンションを販売したが1カ月で完売となった。仕入、設計、施工までを一貫して行えるのが強み。
	「建設」 50点→60点→60点	全体にパイが減少し、受注獲得競争が以前にまして激しくなっている。しかし、これまでの実績や信頼が評価され、受注、売上とも安定しているようだ。震災の影響なども仕入先を変更するなどして、うまく回避できているようだ。
	「建設」 50点→55点→55点	受注件数、受注価格ともに下がっており、売上は前年を下回っている。価格競争が激しく、公共事業件数も減っていることから、工事の受注が難しく厳しい状況。東日本大震災の影響が収束し、復興が本格的に始まった時の業界の景気好転を期待したい。
	「建設」 100点→50点→60点	売上は前年並みで順調。まだ少ないが中国人の購入客が増えている。ほとんどが現金で購入するので、これから本格的に中国市場に目を向ける必要がある。マンション建設に適した土地の確保が難しい状態。4LDKより3LDK程度のコンパクトな間取りのニーズが高い。
	「住宅」 45点→60点→70点	売上は前年比プラス。海岸近くや低地に土地を購入した客に住宅建設を控える動きもあったが、現在はほぼ予定通り建設が進んでいる。以前に比べ高い場所に土地を求める傾向がでてきている。建設資材は本土商社から仕入れているため、円高の影響はまだない。
	「アパート」 60点→70点→70点	離島から進学で本島に来る学生に事前に住宅情報を提供するなど、学生の囲い込みがうまくできている。ただ、依然として1ルームの空室状況は高い水準にある。大手が参入することで既存シェアが奪われ、シェア奪還のために家賃の値下げ競争が始まっている地域もある。
	「不動産」 40点→50点→50点	テナントビル管理について、歓楽街の Snackbar などは売上減少や閉店が多く見られ、状況はあまり良くない。ただし、時間制スナック（キャバクラ）などは、観光客の比率が高く、また観光客数が増加していることもあり売上は好調なようで、入居状況は堅調だ。
	「泡盛」 40点→50点→50点	観光土産販売と居酒屋等への販売が低迷しているため、酒造メーカーによる小売向けの商品投入が多くなっている。小売の需要としては、「家飲み」用の比較的販売単価が低い商品が主流で、メーカー間の小売競争も相まって、売上は前年比べて落ちこんでいる。

製造	「食品製造」 85点→60点→60点	売上は好調。夏休みは家族連れ、9月は大学生、秋から冬にかけては修学旅行など季節によって客層がうまく変わっている。最近では中国や台湾の観光客も増えている。バターや小麦など東北地方が産地となっている原材料の確保が難しい状況。
	「食品製造」 55点→80点→65点	記念キャンペーン商品の売れ行きが好調で、8月の売上は過去最高だった。販売店では、工場の製造が間に合わず、在庫不足の状態である。原材料の取り合いによる価格高騰や、包装資材が手に入りづらいなど、まだまだ震災の影響がみられる。
	「食品製造」 一点→60点→60点	原油価格の高騰、震災による包装・資材会社の復旧の遅れなどで、包装類に価格上昇が続いている。一般に輸入品全般に円高によるメリットがあるように思われているが、輸入豚肉の原料は差額関税制度のためメリットはない。
	「食品製造」 一点→60点→60点	原材料高騰により7月に値上げをしたにもかかわらず、売上は前年と変わらない。食パンなど一部の商品では値上げ前よりも売上が伸びているものもある。コメなどの消費が放射能による風評被害で落ち込んだ影響かもしれない。
サービス	「農業」 65点→50点→50点	今年度は芋の植え付け時期に台風の接近が重なったことにより、芋の供給が不足しているため、売上は落ち込んでいる。ただ、沖縄の冬場の農業は安定しているため、ある程度の収穫は見込める。放射能汚染の風評被害で芋の県外仕入先が集中し仕入価格が上昇している。
	「外食」 一点→60点→80点	国際通りに展開している料理店の売上がゴールデンウィーク以降2ケタの伸びを示している。秋以降は他の料理店で一月あたり数千人単位で団体予約が入るなど順調に伸びており、しばらくは良好な状態が続くようだ。一般客向けの料理店も好調。
	「小売」 60点→50点→60点	今年は本土とお盆が重なったためか、お盆準備用品関係の売上は好調だった。現在は、節電関連グッズの売上も落ち込んでいる。冬に向けては、クールビズとは反対で、節電防寒グッズの売上が期待される。
	「エステ・スパ」 80点→50点→60点	7月は前年比で新規客が少なかったが、8月以降は、ターゲット層を従来よりも広げる戦略を採用し持ち直しつつある。法改正や規制強化などの影響によりエステサロンでのクレジットカードの利用が難しくなってきたことから、長期契約の単価等を低くせざるを得なくなっている。
	「IT」 55点→50点→60点	売上の5割以上は既存システムのリプレイス（入れ替え）。数年おきにシステムのリプレイスが発生するが、既存顧客の多くが継続してくれるため、毎月、リプレイスの案件が数件あり、売上は安定している。ただ、新規の契約が少なくなっている点は懸念材料。
	「IT」 45点→60点→60点	売上は前年並みだが、利益率は落ちている。東京を中心とした関東方面での受託単価が下がっており、その影響から、全国的にも地域間価格競争が起きている。また、アンドロイド系スマートフォンのビジネス向けアプリ開発の需要は伸びている。
	「マッサージ」 60点→65点→60点	観光客が7割程度を占めるが、今夏は地元客が増えたため、8月の売上は対前年比でプラスとなっている。県内は保険が利用できることので多い整骨や整体の人気があるが、それらよりもじっくり長時間マッサージをしてほしい方の来店が多い。
	「中古車販売」 一点→40点→40点	9月より車両の安定供給ができるようになった。これまでのマイナスを取り戻すには1年くらいかかりそうだ。ただ、沖縄はまだ車社会なので需要は確実にある。女性は新車、男性は中古車を好む傾向があるようだ。ハイブリッドなど低燃費車の人気が続いている。
サービス	「中古車販売」 一点→70点→60点	売上は例年同様。年数回開催している中古車フェアなどでの売上も同様。仕入システムが確立され、以前に比べ良質の中古車を提供できるようになった。中古車情報誌の充実で、足を運んで車選びをする客が減少してきているようだ。
	「自動車販売」 30点→40点→60点	工場が完全復旧し、消費マインドも復活してきたことで、8月の売上は前年比140%をこえた。来年4月のエコカー減税終了に伴う駆け込み需要が年末から年明けにかけて予想される。できるだけ年内で前半のマイナス分を取り戻したいところ。

〔社会情勢評価〕観光を中心に好材料はあるが前回調査に比べ、総じて見通しは明るさが弱まった。

震災による影響は弱まり、観光関連では新規海外航空路線の定期便化が顕著にみられるなど、先行き明るい材料も増えてきた。ただし、建設関連ではマンションを除き、総じて低調となっているほか、製造業においても原材料価格の高騰、包装資材の入手困難などの懸念材料が今なお残っている。総じて9月時点では65点と前回調査時（70点）より、先行きの明るさ感がやや弱まるとみている。



- | | |
|---|---|
| <p>観光75点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国人観光客向け数社ビザの発給開始 ・修学旅行客の沖縄へのシフト ・那覇-宮古航空便大幅値下げによる離島観光の活性化 | <p>製造60点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光土産品の販売増加 ・原材料価格の高騰 ・震災の影響により、包装資材が入手困難な状況が継続 |
| <p>建設・不動産65点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国人富裕層の不動産購入増加 ・県外木造住宅メーカー進出による競争激化 ・LEDや断熱材などの新商材取扱いの増加 | <p>サービス65点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコカー減税終了に伴う駆け込み需要 ・節電・防寒グッズの販売増加 ・将来的な増税を見越した、不動産購入等前倒し需要顕在化 |